

学生用ジョブ・カードについて

趣旨・目的等

- ・ 学生が、自身の学生生活における学習活動等をふり返りつつ、職業意識の明確化等を図ることができるよう、学生用ジョブ・カードを開発し、学生等の就職活動やキャリア教育においてその活用を促進することが重要。
- ・ 平成23年度に大学のキャリア教育関係者や企業関係者等を構成員とする実務者会議を開催し、学生用ジョブ・カードの開発及び普及方針策を検討。

学生用ジョブ・カード様式の内容(※)

- ・ 在学中に学んだことや、アルバイト歴、ボランティア活動、インターンシップ等の社会体験活動に関する事項
- ・ 「興味・関心」や「得意なこと、苦手なこと」等の本人のパーソナリティに関する事項
- ・ 本人のキャリア・ビジョン(将来取り組みたい仕事、仕事を通じて達成したい目標等)に関する事項

(※) 実務者会議の構成員が所属する大学等で実施したトライアル(平成23年10～12月)の結果を踏まえて開発。

学生用ジョブ・カードの活用方法

- ① **就職活動での活用**(採用面接等における自己PRシートとしての活用)
- ② **キャリア教育のツールとして活用**(職業意識の形成・向上)
- ③ **エントリーシート等の作成に当たっての基礎資料**(自分の強みや企業へのアピールポイントの明確化)

今後の方針

- ・ 平成24年度以降、文部科学省と連携して、大学・専門学校に対し普及を進めていく予定
- ・ 企業に対しては、ジョブ・カード普及サポーター企業(※)の開拓を通じた周知啓発を図っていく予定

(※) ジョブ・カードを採用面接の応募書類として積極的に活用する企業(13,284社(平成24年6月末時点))